

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイSESみやもと校		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 10日		～ 2025年 11月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 10月 10日		～ 2025年 11月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9 (うち1名はまだ入社間もないため除外)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<b>学習支援</b>	ただ単に勉強をみるだけではなく、学習の時間は支援員との時間だと考えている。集団の中では控えめな児童も学習の時間は支援員を独り占めできる。児童にとっても支援する側にとっても信頼関係を築き、相手を知る貴重な時間となっている。特別支援学校は宿題がない児童が多いためセスで作成したプリント課題に取り組んでいる。	支援級の児童は学校の宿題を行っているが、中には本人の実力と合っていないものもある。保護者様にはお伝えしているが、学校との連携も必要だと感じた。
2	<b>構造化</b>	2階は遊び&おやつ(食事)フロア、3階は勉強フロアと分けている。勉強フロアも対面で勉強するスペースと個人で勉強(作業)するスペースと分かれている。勉強フロアは児童がどこで勉強をするか選び、好きなところで勉強することができる。エレベーター完備のため、階段移動が難しい児童も受け入れることができる。	仕方がないことだが、プールができないのが難点。
3	<b>インクルージョン</b>	みやもと校は特支、支援級、普通級の児童、肢体不自由の児童がいる。話せない児童がいるため支援員が間に入る必要があるが分け隔てなく遊べるよう心がけている。室内活動ではみんなが参加できるゲームを考えている。中学生になったら例外なくお手伝いをしてもらうようにしている。	支援級、普通級の児童が特支の児童のお世話をすることも否定しないが、対等な立場で関わりを持ってほしいと思う。そのためにはどうしたらいいのかまだ模索中。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<b>他施設・子ども同士の交流</b>	地域のイベントに参加する形で大人との地域交流はできているが、子ども同士の交流はできていない。児童館等との交流もない。情報収集をしていない。やり方が分からない。	夏祭りにご家族を招待しての児童の兄弟との交流。地域の子もたちとの交流には何かあるか情報収集を行う。
2			
3			